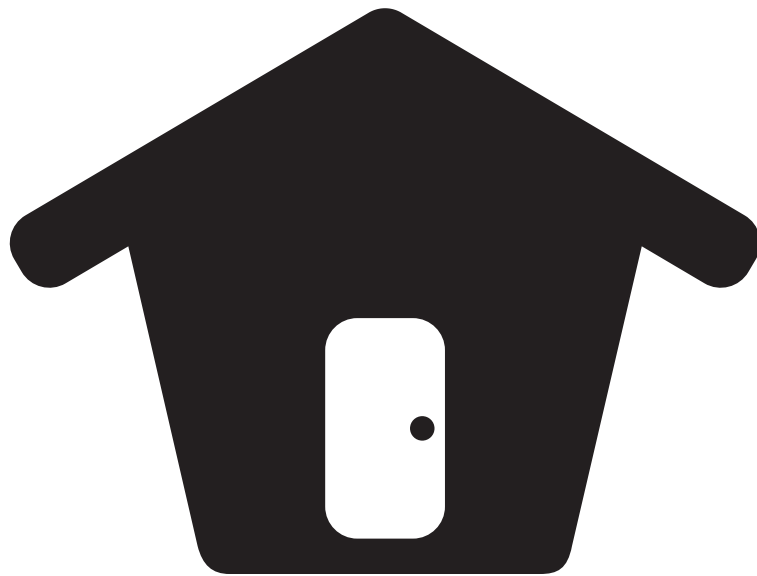


knock-knock

SINCE 2014



Knock-knock は、アートに触れるきっかけづくりをします。
一緒にみる、きく、はなす、かんがえる、つくることを通して
ひとりひとりの日常が豊かになることを目指します。

knock-knock 大政愛、山木薫、山本明日香



knock-knock のこれまでの活動



美術館へ行こう！

「美術館に来る機会の無い人にもアートに触れるきっかけを届けたい」という思いから、knock-knock が企画した最初のプログラム。都立の児童養護施設・東京都立暁星学園の子どもたちを東京都美術館に招き、特別展と一緒に鑑賞。ひとりひとりにスタッフが寄り添いながら言葉を紡ぐかたちをとった。



東京藝術大学 × 東京都美術館「とびらプロジェクト」

knock-knock メンバーがプレイヤー（とびラー）として東京都美術館で関わった活動

スペシャルマンデー

学校向けプログラム

小中学生を中心に、学校の授業の一環として東京都美術館に来館する子供たちに「対話による鑑賞」のプログラムを実施。3年間で、都立、私立合わせてのべ20校以上を受け入れ。



継続的なプログラム

のびのびゆったりワークショップ

小学生を対象とした手や体を動かすプログラム。障害のある子とない子が一緒に活動し、どの子どももとびラーとペアで活動する。隔週で計6回継続的に行うのが特徴。

見楽会

来館者向けプログラム

美術館に来館する人を対象に、「対話による鑑賞」のプログラムを実施、ひとりで鑑賞するのとは違う見方を発見してもらうプログラム。特別展、東京藝大卒業修了展で実施。とびラーが主体となって企画。



ホスピタブル・イン・ホスピタル「アスパラガス」プロジェクト

knock-knock メンバーがプレイヤーとして筑波大学附属病院で関わった活動

「アートの力で病院の空気をおいしく」をモットーに、空間プロデュースやワークショップを実施。学生が主体となってアートの種まきを行う。